



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーグループ株式会社

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

定時株主総会開催予定日 2026年6月25日

配当支払開始予定日 2026年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	335,686	10.2	30,873	45.4	33,119	59.5	21,980	65.1
2025年3月期	304,744	10.1	21,240	44.1	20,769	30.7	13,316	32.5

(注) 包括利益 2026年3月期 24,950百万円 (138.1%) 2025年3月期 10,477百万円 (△56.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	268.93	—	13.3	8.8	9.2
2025年3月期	163.09	—	8.7	5.6	7.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 1,481百万円 2025年3月期 1,240百万円

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	383,881	177,502	45.8	2,150.47
2025年3月期	369,236	158,014	42.2	1,909.32

(参考) 自己資本 2026年3月期 175,783百万円 2025年3月期 155,972百万円

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	36,769	△14,794	△20,455	43,487
2025年3月期	32,609	△9,120	△16,520	39,429

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00	4,134	30.7	2.7
2026年3月期	—	60.00	—	105.00	165.00	6,821	30.7	4.1
2027年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00		32.0	

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期及び2026年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2027年3月期(予想)については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2027年3月期(予想)の年間配当金は、180円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	358,000	6.6	33,500	8.5	34,000	2.7	23,000	4.6	281.37

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2027年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	82,808,522株	2025年3月期	82,808,522株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,066,720株	2025年3月期	1,118,820株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	81,731,373株	2025年3月期	81,652,640株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	18,040	11.1	3,452	356.8	4,009	141.8	6,766	50.3
2025年3月期	16,238	6.7	755	4.3	1,658	12.2	4,500	25.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	82.74		—					
2025年3月期	55.09		—					

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	175,994		59,040		33.5	721.91		
2025年3月期	189,589		60,494		31.9	740.16		

(参考) 自己資本 2026年3月期 59,040百万円 2025年3月期 60,494百万円

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

2026年3月期における日本経済は、インフレ傾向のなかでも個人消費や設備投資が堅調で、緩やかに回復しております。またインバウンド需要は、中国人観光客が減少したものの、欧米や東南アジア等の観光客を中心に好調に推移しました。

海外経済は、米国では底堅い成長が続き、欧州はインフレ鈍化などにより緩やかな回復傾向にあります。中国は内需の減速などで持ち直しが鈍化しており、不動産不況が引き続き懸念材料です。

足元では、国際情勢の変化に伴うサプライチェーンへの影響を注視すべき状況にあります。

(単位：百万円)

	2024年3月期 (a)	2025年3月期 (b)	2026年3月期 ①	前々年度 増減 ①－(a)	前年度 増減 ①－(b)
売上高	276,807	304,744	335,686	58,879	30,942
営業利益	14,737	21,240	30,873	16,135	9,633
%	5.3%	7.0%	9.2%	3.9pt	2.2pt
経常利益	15,894	20,769	33,119	17,224	12,349
%	5.7%	6.8%	9.9%	4.2pt	3.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,051	13,316	21,980	11,929	8,663
%	3.6%	4.4%	6.5%	2.9pt	2.1pt
換算レート					
USD (円)	144.7	152.6	150.8	6.1	△1.8
EUR (円)	156.8	163.8	174.8	18.0	11.0

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業は、国内向けのウオッチ事業、和光事業が堅調な個人消費やインバウンド需要を背景に大きく売上高を伸ばし、海外向けのウオッチ事業も米国を中心に伸長して、売上高は前年度を大きく上回りました。デバイスソリューション事業は、小型電池を中心に伸長し、売上高は前年度を上回りました。システムソリューション事業も、多角化やストックビジネス拡大への取組みにより、前年度を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、3,356億円（前年度比10.2%増）となりました。

連結全体の国内売上高は1,757億円（同5.7%増）、海外売上高は1,598億円（同15.4%増）となり、海外売上高割合は47.6%でした。

当連結会計年度の販売費及び一般管理費は、前年度に比べ85億円の増加となりました。このうち広告宣伝販促費は、前年度に対して10%以上増加しております。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業が牽引し、前年度から96億円増加の308億円（同45.4%増）となりました。営業外収支は、円相場の大幅な変動による為替差益の計上等により前年度から改善し、経常利益は前年度を上回る331億円（同59.5%増）となりました。特別損益は、特別利益として固定資産売却益5億円、特別損失として減損損失や事業構造改善費用など、合わせて18億円を計上しました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度から86億円増加の219億円（同65.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは1米ドル150.8円、1ユーロ174.8円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、セイコータイムクリエーション(株)のクロック販売事業をセイコーウオッチ(株)に移管するとともに、「エモーショナルバリューソリューション事業」に含めていたセイコータイムクリエーション(株)を「システムソリューション事業」に変更しております。

また、「デバイスソリューション事業」に含めていたセイコーフューチャークリエーション(株)を「その他」に変更しております。

① エモーショナルバリューソリューション事業 (EVS事業)

EVS事業は売上高2,204億円(前年度比10.7%増)、営業利益285億円(同28.7%増)と大幅な増収増益となりました。

ウオッチ事業の売上高は、「グランドセイコー」においては、国内で10月以降復調し、また海外でも米国市場で好調に推移して、前年度を上回りました。「セイコー」は、グローバルブランドである「プロスペックス」「プレザージュ」「5スポーツ」が好調に推移し、前年度から大幅に増加しました。国内はインバウンド需要を背景に広告効果もあり、また海外は米国市場を中心に大きく伸長しました。

和光事業は、引き続き好調なインバウンド需要もあり、ウオッチを中心に売上高は前年度から大きく増加しました。

② デバイスソリューション事業 (DS事業)

DS事業は売上高649億円(前年度比8.2%増)、営業利益38億円(同37.4%増)となりました。

小型電池は、医療向け酸化銀電池を中心に大きく売上高を伸ばしました。また、インクジェットヘッドも、用途拡大等で前年度から売上高が増加しました。これらの結果、デバイスソリューション事業は前年度から増収増益となりました。

③ システムソリューション事業 (SS事業)

SS事業は売上高571億円(前年度比8.3%増)、営業利益55億円(同6.0%増)となりました。

前年度から引き続きITインフラ関連が堅調に推移し、セキュリティ関連ビジネスも大手顧客向けの更新需要などがあり拡大しました。外食チェーン向けオーダーエントリーシステムやタクシー業界向け決済関連ビジネスも伸長しました。また、第2四半期連結会計期間に実施したM&Aもグループ内シナジー効果もあり収益に貢献したことなどから、セイコーソリューションズ(株)の事業は40四半期連続で増収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は3,838億円となり、前連結会計年度末に比べて146億円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が40億円、売掛金が58億円、仕掛品が12億円、原材料及び貯蔵品が25億円増加したことなどにより、流動資産合計は前連結会計年度末より137億円増加の1,879億円となりました。固定資産では、有形固定資産が13億円、無形固定資産が20億円増加した一方で、投資その他の資産が24億円減少したことから、固定資産合計は前連結会計年度末と比べ9億円増加の1,959億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金79億円、長期借入金(「1年内返済予定の長期借入金」を含む)が41億円減少したことなどにより、借入金合計は954億円となりました。その他、支払手形及び買掛金が14億円、未払金が31億円、未払法人税等が14億円増加した一方、繰延税金負債が13億円減少したことなどにより、負債合計は前連結会計年度末と比べ、48億円減少の2,063億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が170億円、為替換算調整勘定が71億円増加する一方で、その他有価証券評価差額金が37億円減少したことなどから、純資産合計は前連結会計年度末と比べ194億円増加の1,775億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高は434億円となり、前連結会計年度末と比べて40億円の増加となりました。また、営業活動および投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは219億円となりました。

これは主に以下の要因によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が318億円となり、減価償却費140億円を加え、売上債権の増減額△35億円、法人税等の支払額△86億円等の調整を行った結果、367億円のプラス（前年度は326億円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出△96億円、無形固定資産の取得による支出△42億円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△8億円等を計上したことから、147億円のマイナス（前年度は91億円のマイナス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済および借入がネットで△122億円、リース債務の返済による支出△28億円、配当金の支払額△47億円等があり204億円のマイナス（前年度は165億円のマイナス）となりました。

(4) 今後の見通し

2026年3月期においては、EVS事業、DS事業及びSS事業の全事業が前年度から増収増益となり、2027年3月期においても引き続き事業は堅調に推移する見通しであることから、通期業績見通しを以下の通りといたします。

なお、業績予想の前提となる2027年3月期の為替レートは1米ドル150.0円、1ユーロ170.0円を想定しています。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当期実績(A)	335,686	30,873	33,119	21,980	268.93
業績予想(B)	358,000	33,500	34,000	23,000	281.37
増減額(B-A)	22,313	2,626	880	1,019	12.44
増減率(%)	6.6	8.5	2.7	4.6	4.6

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、当期実績における1株当たり当期純利益を算定しております。また業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高	営業利益
エモーショナルバリューソリューション事業	2,290	310
デバイスソリューション事業	735	43
システムソリューション事業	615	66
事業別合計	3,640	419
その他	45	1
連結合計	3,580	335

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

当社は、当期の連結業績を踏まえ、2026年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。なお、本件は、2026年6月25日開催予定の第165回定時株主総会に付議する予定であります。

当社は、利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部資本の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としております。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上とします。

この基本方針および当期の連結業績を踏まえ、2026年3月31日を基準日とする期末配当金を1株当たり90円から15円増配の105円とすることを予定しております。

これにより、当期の年間配当金は、中間配当と合わせ、1株当たり165円となる予定であり、連結業績に基づく連結配当性向は30.7%となる見込みです。

【配当の内容】

	決定額	直近の配当予想 (2026年2月10日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	105円00銭	90円00銭	55円00銭
配当金の総額	4,340百万円	—	2,273百万円
効力発生日	2026年6月26日	—	2025年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

次期の配当金につきましては、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しており、1株当たり年間配当金90.0円（中間期45.0円、期末45.0円）（株式分割前ベースで180.0円）を計画しております。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性の確保および国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,429	43,487
受取手形	3,546	3,014
売掛金	36,400	42,259
契約資産	1,426	446
商品及び製品	46,846	46,939
仕掛品	19,120	20,362
原材料及び貯蔵品	15,697	18,277
未収入金	3,697	4,520
その他	9,631	10,475
貸倒引当金	△1,614	△1,867
流動資産合計	174,183	187,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	83,290	86,119
機械装置及び運搬具	94,004	96,558
工具、器具及び備品	43,549	47,096
使用権資産	16,524	19,358
その他	211	186
減価償却累計額	△178,271	△189,272
土地	52,695	52,879
建設仮勘定	989	1,437
有形固定資産合計	112,995	114,365
無形固定資産		
のれん	6,375	6,091
その他	11,614	13,921
無形固定資産合計	17,989	20,012
投資その他の資産		
投資有価証券	53,123	49,545
退職給付に係る資産	1,603	1,348
繰延税金資産	2,151	2,618
その他	7,334	8,223
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	64,068	61,589
固定資産合計	195,053	195,967
資産合計	369,236	383,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,847	28,322
短期借入金	50,547	42,569
1年内返済予定の長期借入金	23,065	28,605
未払金	11,997	15,098
未払法人税等	5,311	6,743
契約負債	9,769	9,998
賞与引当金	5,865	6,595
商品保証引当金	566	682
事業構造改善引当金	217	-
その他の引当金	286	296
資産除去債務	502	513
その他	14,652	17,192
流動負債合計	149,628	156,616
固定負債		
長期借入金	33,996	24,308
リース債務	9,033	9,385
繰延税金負債	5,335	4,023
再評価に係る繰延税金負債	3,720	3,720
株式給付信託引当金	723	1,013
長期商品保証引当金	164	239
役員退職慰労引当金	4	4
その他の引当金	5	2
退職給付に係る負債	5,900	5,153
資産除去債務	609	706
その他	2,099	1,202
固定負債合計	61,592	49,762
負債合計	211,221	206,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,256	7,259
利益剰余金	98,164	115,182
自己株式	△1,381	△1,318
株主資本合計	114,039	131,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,711	10,999
繰延ヘッジ損益	△5	△48
土地再評価差額金	8,083	8,083
為替換算調整勘定	18,783	25,935
退職給付に係る調整累計額	359	△311
その他の包括利益累計額合計	41,932	44,659
非支配株主持分	2,042	1,719
純資産合計	158,014	177,502
負債純資産合計	369,236	383,881

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	304,744	335,686
売上原価	167,676	180,483
売上総利益	137,068	155,203
販売費及び一般管理費	115,827	124,329
営業利益	21,240	30,873
営業外収益		
受取利息	531	586
受取配当金	911	844
持分法による投資利益	1,240	1,481
為替差益	-	1,194
その他	540	749
営業外収益合計	3,223	4,857
営業外費用		
支払利息	1,567	1,389
為替差損	624	-
その他	1,502	1,222
営業外費用合計	3,694	2,611
経常利益	20,769	33,119
特別利益		
固定資産売却益	816	561
投資有価証券売却益	1,858	-
受取保険金	360	-
会員権売却益	183	-
特別利益合計	3,218	561
特別損失		
減損損失	2,217	938
事業構造改善費用	899	798
固定資産除却損	167	136
災害による損失	281	-
代理店契約解約損	148	-
特別損失合計	3,715	1,873
税金等調整前当期純利益	20,273	31,807
法人税、住民税及び事業税	7,323	10,016
法人税等調整額	△558	△286
法人税等合計	6,765	9,730
当期純利益	13,508	22,076
非支配株主に帰属する当期純利益	191	96
親会社株主に帰属する当期純利益	13,316	21,980

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	13,508	22,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,456	△3,493
繰延ヘッジ損益	68	△42
土地再評価差額金	△106	-
為替換算調整勘定	79	6,684
退職給付に係る調整額	△558	△688
持分法適用会社に対する持分相当額	943	412
その他の包括利益合計	△3,030	2,873
包括利益	10,477	24,950
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,274	24,706
非支配株主に係る包括利益	202	243

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	7,245	88,465	△1,584	104,126
当期変動額					
剰余金の配当			△3,617		△3,617
親会社株主に帰属する 当期純利益			13,316		13,316
自己株式の取得				△2	△2
株式給付信託による 自己株式の処分				205	205
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		11			11
その他				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	11	9,699	202	9,913
当期末残高	10,000	7,256	98,164	△1,381	114,039

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	17,820	△74	8,190	18,290	746	44,974	2,234	151,334
当期変動額								
剰余金の配当								△3,617
親会社株主に帰属する 当期純利益								13,316
自己株式の取得								△2
株式給付信託による 自己株式の処分								205
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動								11
その他								△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△3,109	68	△106	492	△387	△3,041	△192	△3,233
当期変動額合計	△3,109	68	△106	492	△387	△3,041	△192	6,679
当期末残高	14,711	△5	8,083	18,783	359	41,932	2,042	158,014

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	7,256	98,164	△1,381	114,039
当期変動額					
剰余金の配当			△4,754		△4,754
親会社株主に帰属する 当期純利益			21,980		21,980
自己株式の取得				△4	△4
株式給付信託による 自己株式の処分				67	67
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		3			3
連結子会社の決算期 変更に伴う増減			△207		△207
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3	17,018	63	17,084
当期末残高	10,000	7,259	115,182	△1,318	131,124

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	14,711	△5	8,083	18,783	359	41,932	2,042	158,014
当期変動額								
剰余金の配当								△4,754
親会社株主に帰属する 当期純利益								21,980
自己株式の取得								△4
株式給付信託による 自己株式の処分								67
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動								3
連結子会社の決算期 変更に伴う増減								△207
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△3,711	△42	-	7,152	△671	2,726	△322	2,403
当期変動額合計	△3,711	△42	-	7,152	△671	2,726	△322	19,488
当期末残高	10,999	△48	8,083	25,935	△311	44,659	1,719	177,502

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	20,273	31,807
減価償却費	14,307	14,085
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	206	168
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△253	△838
受取利息及び受取配当金	△1,443	△1,431
支払利息	1,567	1,389
為替差損益 (△は益)	0	△571
持分法による投資損益 (△は益)	△1,240	△1,481
減損損失	2,217	938
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,858	-
固定資産売却損益 (△は益)	△999	△561
固定資産除却損	487	416
売上債権の増減額 (△は増加)	4,827	△3,508
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,467	△929
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,909	648
その他	1,454	4,949
小計	39,105	45,080
利息及び配当金の受取額	1,443	1,431
持分法適用会社からの配当金の受取額	279	301
利息の支払額	△1,548	△1,392
法人税等の支払額	△6,670	△8,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,609	36,769
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,362	△9,680
有形固定資産の売却による収入	2,598	667
投資有価証券の取得による支出	△101	△0
投資有価証券の売却による収入	2,483	9
貸付けによる支出	△640	△585
貸付金の回収による収入	821	696
無形固定資産の取得による支出	△3,309	△4,267
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△801
その他	△610	△833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,120	△14,794
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,210,538	1,096,404
短期借入金の返済による支出	△1,224,350	△1,104,506
長期借入れによる収入	27,300	21,400
長期借入金の返済による支出	△23,639	△25,548
自己株式の取得による支出	△2	△4
リース債務の返済による支出	△2,365	△2,884
配当金の支払額	△3,617	△4,754
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△228	△489
その他	△153	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,520	△20,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	△223	2,656
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,746	4,176
現金及び現金同等物の期首残高	32,683	39,429
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	△118
現金及び現金同等物の期末残高	39,429	43,487

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

(連結子会社の事業年度等に関する事項)

当連結会計年度より、連結財務情報のより適正な開示を図るため、決算日が連結決算日と異なっていた連結子会社のうち、SEIKO Precision (Thailand) Co., Ltd.の決算日を2月末日から12月末日に、Seiko Instruments (Thailand) Ltd.の決算日を1月末日から12月末日に変更し、いずれも連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。これらの変更により、当連結会計年度の連結損益計算書は、2025年4月1日から2026年3月31日までの12か月間を連結しております。なお、当該連結子会社の決算期変更に伴う損益については利益剰余金に直接計上しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、提供するソリューションを基準とした3つの戦略ドメイン（エモーショナルバリューソリューションドメイン、デバイスソリューションドメイン、システムソリューションドメイン）を設定し、ドメインごとの戦略を策定し、推進しております。

したがって、当社は、戦略ドメインが提供するソリューションを基準とした「エモーショナルバリューソリューション事業」、「デバイスソリューション事業」及び「システムソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品及び商品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要な製品及び商品
エモーショナルバリューソリューション事業	ウオッチ、ウオッチムーブメント、クロック、高級宝飾・服飾・雑貨品
デバイスソリューション事業	電池・材料、水晶振動子、精密部品、プリンタ、水晶発振器用IC
システムソリューション事業	ハードウェア&ソフトウェアソリューション（IoT/AIソリューション）、DXプラットフォームソリューション（CX/EX、デジタルトラスト、性能管理、セキュリティ）、キャッシュレスソリューション、ファシリティソリューション（大型表示盤、競技計時機器）
その他	シェアードサービス、不動産賃貸 他

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、セイコータイムクリエーション(株)のクロック販売事業をセイコーウオッチ(株)に移管するとともに、「エモーショナルバリューソリューション事業」に含めていたセイコータイムクリエーション(株)を「システムソリューション事業」に変更しております。

また、「デバイスソリューション事業」に含めていたセイコーフューチャークリエーション(株)を「その他」に変更しております。

なお、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額に関する情報」の前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用した会計処理の原則及び手続と概ね同一であります。セグメント間の取引価格は主として外部取引価格に準じております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリエ ーション事 業	デバイス リユーショ ン事業	システム リユーショ ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	196,193	55,891	50,289	302,374	1,903	304,277	467	304,744
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,964	4,145	2,499	9,609	1,501	11,111	△11,111	—
計	199,158	60,037	52,788	311,983	3,404	315,388	△10,644	304,744
セグメント利益	22,213	2,777	5,190	30,182	235	30,417	△9,177	21,240
セグメント資産	156,075	75,017	43,406	274,499	24,723	299,222	70,013	369,236

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額467百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△9,177百万円には、のれんの償却額△566百万円、セグメント間取引消去等331百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,942百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
- (3) セグメント資産の調整額70,013百万円には、報告セグメント間の債権の相殺消去△80,906百万円、各セグメントに配分していない全社資産200,595百万円及び投資と資本の相殺消去等△49,675百万円が含まれております。全社資産は、本社部門での余資運用資金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリュ ーション事業	デバイス ソリュ ーション事業	システム ソリュ ーション事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	218,009	59,846	55,063	332,919	2,202	335,122	564	335,686
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,437	5,104	2,102	9,644	2,086	11,731	△11,731	—
計	220,447	64,950	57,165	342,563	4,289	346,853	△11,166	335,686
セグメント利益	28,590	3,816	5,500	37,908	249	38,157	△7,284	30,873
セグメント資産	169,301	80,609	48,173	298,083	25,797	323,881	60,000	383,881

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額564百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△7,284百万円には、のれんの償却額△566百万円、セグメント間取引消去等266百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,984百万円が含まれております。全社費用の主なもの、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
- (3) セグメント資産の調整額60,000百万円には、報告セグメント間の債権の相殺消去△77,226百万円、各セグメントに配分していない全社資産187,000百万円及び投資と資本の相殺消去等△49,773百万円が含まれております。全社資産は、本社部門での余資運用資金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	エモーシ ナルバリュ ーソリュ ーション事業	デバイス ソリュ ーション事業	システム ソリュ ーション事業	計			
減損損失	116	1,883	217	2,217	—	—	2,217

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	エモーシ ナルバリュ ーソリュ ーション事業	デバイス ソリュ ーション事業	システム ソリュ ーション事業	計			
減損損失	—	938	—	938	—	—	938

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,150円47銭
1株当たり当期純利益	268円93銭

- (注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(当連結会計年度909千株)。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(当連結会計年度898千株)。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	177,502
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,719
(うち非支配株主持分(百万円))	(1,719)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	175,783
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	81,741

5. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	21,980
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	21,980
普通株式の期中平均株式数(千株)	81,731

(重要な後発事象)

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社は、2026年2月10日開催の取締役会決議に基づき、2026年4月1日付で株式分割を行っております。

(1)株式分割の目的

投資単位を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2)株式分割の概要

①分割の方法

2026年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割します。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	41,404,261株
今回の分割により増加する株式数	41,404,261株
株式分割後の発行済株式総数	82,808,522株
株式分割後の発行可能株式総数	298,400,000株

③分割の日程

基準日公告日	2026年3月13日
基準日	2026年3月31日
効力発生日	2026年4月1日

④1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映されております。